

<u>CLASSE:</u>	文学講読 プルーストを読む LePS-61
<u>Jour:</u>	土曜日
<u>Horaire:</u>	13:30-15:20
<u>Niveau:</u>	B1
<u>M./Mme:</u>	M. Satoshi FUKUYAMA
<u>Objectifs:</u>	フランス20世紀文学の最高峰に位置するプルーストの作品を、じっくり読み解いていきたいと思います。 作品の全体に配慮しながら、全部を読み上げることを目標にしています。
<u>Descriptif:</u>	第2巻『花咲く乙女たちのかげに』の第1部「スワン夫人をめぐる」を継続して読みます。 ノルポワ氏をはじめて自宅に招いた晩餐会もいよいよ後半に入りました。スワンとオデットが結婚する直前の様子があきらかにされたり、語り手の私が崇拝してやまない作家ベルゴットをノルポワ氏がこきおろしたりと読みどころが待ち構えています。そのとき語り手のわたしはどう感じ何を思うのか、そうした興味をみなさんと共有しつつ読み進めていきましょう。 授業は日本語でおこないます。事前にお当てしておいた生徒さんに訳していただきながら、みなさんとともにあれこれと考えていくスタイルをとっています。プルーストの思想と文章を形作ったさまざまな歴史的な背景、文化要素を抽出していくことにも意を用いています。 こころざし高く『失われた時を求めて』にチャレンジしても、第1巻で挫折したというのは、もはやプルーストあるあるといってもよいでしょう。新しい第2巻『花咲く乙女たちのかげに』に入ったばかりです。きりもよく、新規に参加するにはちょうどよいかもしれません。『失われた時を求めて』は、じっくり読めば読むほど持続して読める作品です。教室もアットホームな雰囲気です。この未知のゾーンをいっしょに体験してみませんか？これを機にぜひご参加を、お待ちしております。
<u>Matériel:</u>	Marcel Proust : <i>A la Recherche du temps perdu</i>, Gallimard, Pléiade (プリント配布)
<u>Remarques:</u>	